

<http://www.hagihara.co.jp/>

最新のトピックスをはじめ、当社に関する  
さまざまな情報がご覧いただけます。



**HAGIHARA**  
HAGIHARA INDUSTRIES INC.

## 第55期 年次報告書

平成28年11月1日～平成29年10月31日

**HAGIHARA**  
萩原工業株式会社

表紙写真：岡山県 備前焼  
萩原 邦章 作

萩原工業株式会社

株主の皆様には、平素よりご高配をいただき厚く御礼申し上げます。

萩原工業の第55期（平成28年11月1日から平成29年10月31日まで）が終了しましたので、ここにご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、海外経済の不確実性が払拭できないものの、各種経済指標が改善傾向を示すなど、緩やかな回復基調にありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「果敢に挑戦、新たな躍動」を基本方針とする中期経営計画（DH56）の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでまいりました。

今後もこれまで培い蓄えてきた能力を活用し、戦略的リスクへ果敢に挑戦してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 経営方針

当社グループは、「長年培ったフラットヤーン技術を大事にしながら、常に変革し続け、世のため人のために役立つ会社であろう」を経営理念として掲げ、顧客の便益性に応え最高の品質とサービスを提供し、提案型マーケティングと圧倒的なコスト競争力を持ち、独創的な製品を開発することを基本方針といたしております。

平成30年10月期におきましては、「果敢に挑戦、新たな躍動」をスローガンとする中期経営計画（DH56）の達成に向けて、「戦略製品の販売強化と市場開拓」、「海外売上拡大」、「ものづくりプロセスの再構築」、「新技術融合による顧客価値の創造」といった施策を実行してまいります。そして、更なる事業の成長を目指して、ステークホルダーの皆様とともに社会への一層の貢献を行うことを経営指針として活動してまいります。

### 対処すべき課題

当社グループは、激しさを増す市場競争の中で、中期経営計画（DH56）の実行により、フラットヤーン関連事業で確固たる地位を築くことに努めます。

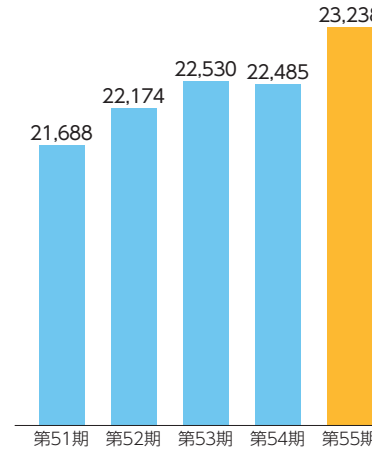
そのためには、徹底した安全と品質向上というものづくりの基本をベースに、マーケティング力の強化、要素技術の磨き上げによる製品競争力の向上と、生産効率のアップによるコスト競争力の向上により、一層の経営体質の強化にグループ一丸となって取り組んでまいります。



代表取締役社長 浅野和志

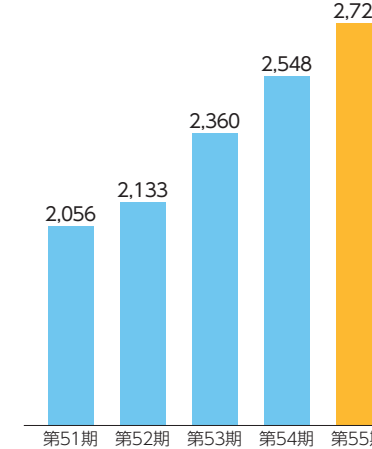
### 売上高(連結)

(単位：百万円)



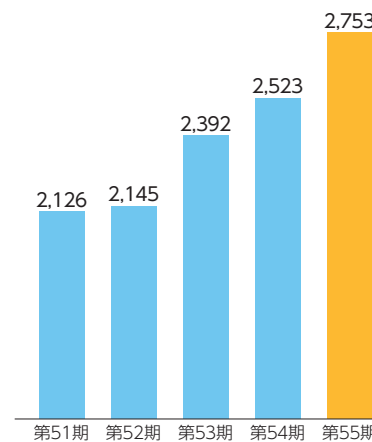
### 営業利益(連結)

(単位：百万円)



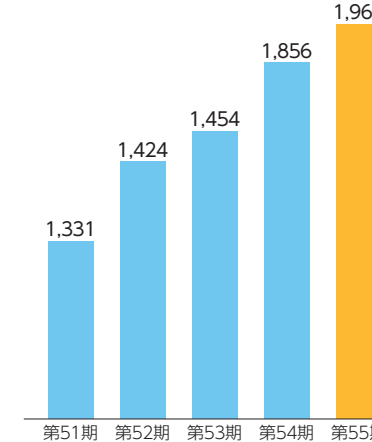
### 経常利益(連結)

(単位：百万円)



### 親会社株主に帰属する当期純利益(連結)

(単位：百万円)



### 平成29年10月期 決算サマリー(連結)

■ 売上高  
**232億38**百万円  
前期比 **3.4%**増

■ 営業利益  
**27億21**百万円  
前期比 **6.8%**増

■ 経常利益  
**27億53**百万円  
前期比 **9.1%**増

■ 親会社株主に帰属する当期純利益  
**19億64**百万円  
前期比 **5.8%**増

ご存知ですか?

# 4月10日はシートの日

ブルーシートに代表される様々なシートが、レジャーやお花見、工事現場、建築現場、更には災害復旧など、人々の生活のあらゆる場面で使用されています。

当社は社会にシートをより広く普及・啓蒙するため、4月10日をシートの日として制定しております（一般社団法人日本記念日協会登録認定）。

時代とともに変わっていくシートの歴史をご紹介します。

## 樹脂シートの歴史



### 万能シート

元々はトラックの幌としてオレンジ色で作られましたが、それが様々な場面で使われるようになりました。

### ブルーシート

オレンジ色の顔料に有害な物質が入っているという噂が広まり、耐候性、コスト、爽やかさなどの理由で、昭和49年に現在のブルーシートになりました。様々な場面で活躍しています。

注目!!

最近ではブルー以外にこんな新しいシートもあります



### 年数シート

「シートって何年使えるの?」というお客様の声から誕生した、耐用年数を商品名にしたシート。1、2、3、5、10年のラインナップ。



独特の菱模様

### 和みシート

独特の青色と菱模様、雰囲気の異なるリバーシブル構造が特長の和のイメージをもった新しいシート。従来のブルーシートと異なり景観に調和し、人々の心に「和み」をご提供します。

# 東京外環道で活躍 バルチップ

2020年東京オリンピックの開催も近づき、様々な工事が本格化している首都圏。その中でも現在急ピッチで工事が進められている「東京外かく環状道路（外環道）」では、当社のバルチップが大活躍しています。

なかなか知られていない当社の主力製品「バルチップ」について紹介します。

## 東京外環道とは?

都心部からの放射道路を相互に連絡して、都心方向に集中する交通を分散するとともに、都心部の通過交通をバイパスさせる役割を担う道路。都心の渋滞緩和や環境の改善を図るため、工事が進められています。



## どこでバルチップが?

現在進められている東名JCT-大泉JCT間の工事で使われています。トンネルを掘り、セグメントと呼ばれるコンクリートの壁を取り付けます。この中に当社のバルチップが使われています。ほかにも、ジャンクションでも使われています。



## バルチップ

当社が長年培ってきたプラスチック繊維延伸・製造技術から開発された理想的なコンクリート補強繊維です。補強繊維として数々の特長をもつバルチップは、平成7年発売以来長年にわたる実績と高い評価を得ています。道路工事のほかにも、建物の土間や法面の補強など、様々な用途で日本国内・海外で活躍しています。



バルチップ



コンクリートの中に混ぜて使われています

### バルチップ使用例



建物の土間



法面



トンネル内壁への吹付

## 株式分割を実施しました

投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるとともに、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的とし、平成29年11月1日（水）付で株式分割を実施いたしました。

分割比率 1対2

分割基準日

効力発生日

平成29年10月31日(火)

平成29年11月1日(水)

## 合成樹脂加工製品事業

### 概況

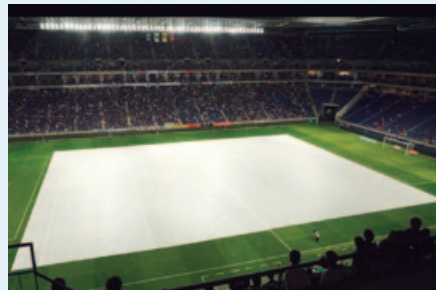
合成樹脂加工製品事業におきましては、人工芝関連（原糸、基布）、粘着テープ基材は堅調に推移、またコンクリート補強繊維（バルチップ）は海外販売が大きく盛り返しました。シート関連は公共工事の増加等により販売は回復傾向となりました。

インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、フレコン袋、バルチップ及びインドネシア国内向けペーパークロス袋とも概ね堅調に推移しました。中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましては、ブルーシートの底打ちにより、売上は回復基調となりました。

### トピックス

#### メッシュシートがプロジェクションマッピングに採用

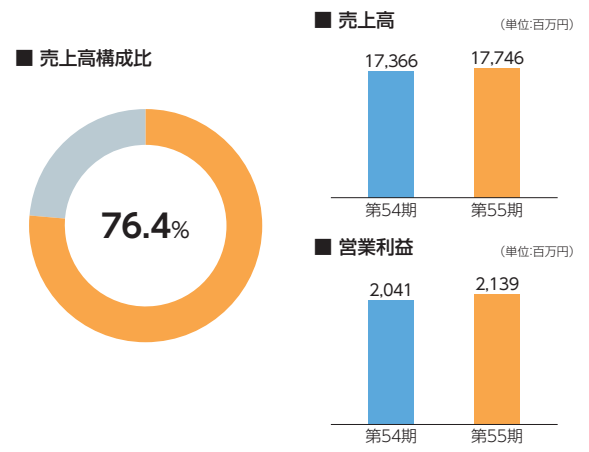
Jリーグ1部 ガンバ大阪のホームスタジアムである「市立吹田サッカースタジアム」では、ファンサービスの一環として、芝生に大きなシートを敷き選手紹介等の映像をプロジェクションマッピングで流しています。今までのシートは重く、雨が降ると水が溜まるため、担当の方が他のシートを探されていて、当社にご相談いただきました。きっかけはホームページにある「おもしろえ 直ぐやってみよう」の文字。何でもやってくれそうな会社と思われてのお電話でした。そして当社がご提案したのがストロングメッシュシート。従来は建設中の建物等を覆うために使用するメッシュシートを当社の熱融着技術で貼り合わせて大型化（35×52.5m）することで、従来のシートより軽く水も溜まらず、投影準備に掛かる時間も短縮され、プロジェクションマッピングに最適なシートになりました。建築資材であるメッシュシートが、プロジェクションマッピングという新しい分野で活躍し注目を集めています。



芝生の上に敷かれたストロングメッシュシート



プロジェクションマッピングによる大迫力映像



## 機械製品事業

### 概況

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器は、国内向けが総じて弱含み、また海外向けでも主力市場のタイにおいて軟包装系汎用スリッターが低調な動きとなりました。一方、東南アジア軟包装系市場では戦略機種が、また、中国向け電子材料用スリッター・ワインダー及び工業材料向け特殊スリッターが順調でした。

ワインダー機器は、嵌合材料向け、衛生用品材料向けが順調でした。

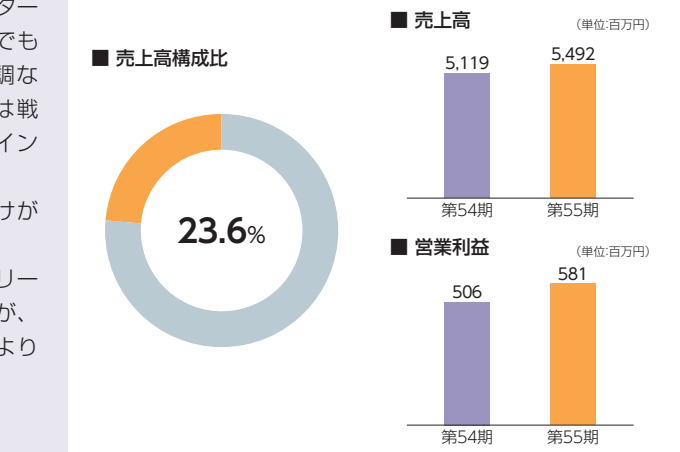
押出関連機器は、食品容器用、高機能フィルム用スクリーンチェンジャー及び高機能樹脂造粒装置が順調でしたが、リサイクル関連機器は、慎重な設備投資姿勢の継続により低調な動きとなりました。

### トピックス

#### スリッター事業 高機能フィルム分野への挑戦

国内の高機能フィルム分野は日々進歩しています。特に広幅のフィルムでは、より高度なテストを求め、小型スリッターによる実装テストではなく広幅フィルムそのものを使った広幅テスト機による実装テストのご要望をいただくようになりました。

お客様のご要望にお応えし、高機能フィルム分野での販売拡大を目指し、従来の対応幅を上回るローラー面長3mの3軸シャフトレス・センタードライブスリッターを開発しました。高機能フィルムの生産拠点多い関西地区で開催された「関西高機能フィルム展」に出展したところ、お客様より多くのご要望、ご指摘をいただきました。平成30年から予定しているお客様の実装テストに向けて、追加仕様や機械改造も実施しています。成長が期待される高機能フィルム分野への挑戦にご期待ください。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 平成28年10月31日現在	当期 平成29年10月31日現在		前期 平成28年10月31日現在	当期 平成29年10月31日現在
資産の部			負債の部		
<b>Point ①</b> 流動資産	15,785	17,761	<b>Point ③</b> 流動負債	5,450	6,025
<b>Point ②</b> 固定資産	9,088	9,352	<b>Point ③</b> 固定負債	1,474	1,244
			負債合計	6,924	7,269
有形固定資産	7,027	7,245	純資産の部		
無形固定資産	137	122	株主資本	17,840	19,333
投資その他の資産	1,923	1,984	資本金	1,778	1,778
資産合計	24,874	27,114	資本剰余金	1,393	1,393
			利益剰余金	15,064	16,559
			自己株式	△ 396	△ 397
			その他の包括利益累計額	108	509
			その他有価証券評価差額金	22	34
			繰延ヘッジ損益	△ 2	0
			為替換算調整勘定	17	261
			退職給付に係る調整累計額	71	212
			非支配株主持分	1	1
			純資産合計	17,949	19,844
			負債純資産合計	24,874	27,114

**Point ①** 流動資産

流動資産は、現金及び預金が増加したこと等により前期末に比べて増加し、177億61百万円となりました。

**Point ②** 固定資産

固定資産は、生産設備の合理化投資を行ったこと及び円安により海外子会社の固定資産の円換算額が増加したこと等により前期末に比べて増加し、93億52百万円となりました。

**Point ③** 流動負債、固定負債

流動負債は、短期借入金及びその他流動負債が増加したこと等により前期末に比べて増加し、60億25百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したこと等により前期末に比べて減少し、12億44百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期 自平成27年11月1日 至平成28年10月31日	当期 自平成28年11月1日 至平成29年10月31日
売上高	22,485	23,238
売上原価	16,182	16,349
売上総利益	6,303	6,889
販売費及び一般管理費	3,755	4,167
<b>Point ④</b> 営業利益	2,548	2,721
営業外収益	89	115
営業外費用	114	83
<b>Point ④</b> 経常利益	2,523	2,753
特別利益	322	12
特別損失	9	—
税金等調整前当期純利益	2,835	2,766
法人税、住民税及び事業税	928	777
法人税等調整額	50	23
当期純利益	1,856	1,965
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
<b>Point ④</b> 親会社株主に帰属する当期純利益	1,856	1,964

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**Point ④** 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

コンクリート補強繊維、シート関連、スリッター関連機器の販売が堅調に推移した結果、営業利益27億21百万円、経常利益27億53百万円、親会社株主に帰属する当期純利益19億64百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期 自平成27年11月1日 至平成28年10月31日	当期 自平成28年11月1日 至平成29年10月31日
<b>Point ⑤</b> 営業活動による キャッシュ・フロー	3,904	2,535
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,320	△ 848
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 739	△ 326
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 56	33
現金及び現金同等物の 増減額（減少：△）	1,788	1,393
現金及び現金同等物の 期首残高	3,134	4,923
現金及び現金同等物の 期末残高	4,923	6,317

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**Point ⑤** 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益及び減価償却費等による資金の増加で、25億35百万円の資金の増加となりました。

## ■株式に関する事項

(平成29年10月31日現在)

発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式総数	7,448,800株
単元株式数	100株
株主数	5,068名

## 大株主（上位10名）

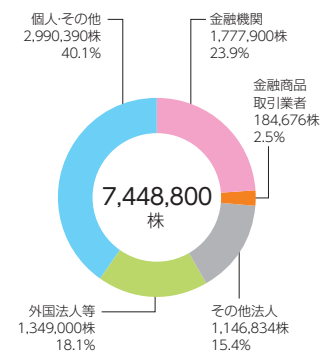
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
萩原株式会社	717	9.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	457	6.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	328	4.54
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	307	4.25
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	282	3.90
萩原邦章	262	3.62
萩原工業従業員持株会	221	3.05
日本ポリケム株式会社	200	2.76
萩原賦一	197	2.72
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	119	1.64

(注)1. 当社は自己株式215,440株を所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

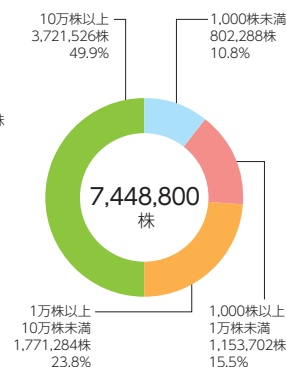
## ■株式分布状況

(平成29年10月31日現在)

## 所有者別株式分布状況



## 所有株数別株式分布状況



## ■会社概要

(平成29年10月31日現在)

商号	萩原工業株式会社
本社	〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
	TEL.086-440-0860
	FAX.086-440-0869
設立	昭和37年（1962年）11月29日
資本金	17億78百万円
従業員数	438名
主な事業内容	ポリエチレン・ポリプロピレンを主原料とした合成樹脂繊維のフラットヤーンを用いた関連製品及びフラットヤーン技術を応用したスリッター等産業機械の製造・販売

## ■役員

(平成30年1月23日現在)

【取締役】	
代表取締役会長	萩原 邦章
代表取締役社長	社長執行役員 浅野 和志
取締役	専務執行役員 田中 稔一
取締役	常務執行役員 笹原 義博
取締役	執行役員 吉田 淳一
取締役	執行役員 松浦 正幸
社外取締役	中原 裕二
社外取締役	秋草 史幸

【監査役】	
常勤監査役	金光 利文
監査役	石井 辰彦
監査役	三宅 孝治

【執行役員】	
執行役員	飯山 辰彦
執行役員	藤田 学
執行役員	國定 佳孝

## 株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	7856
事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	1月
基準日	定時株主総会 10月31日
	期末配当 10月31日
	中間配当 4月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告
	当社ホームページアドレス <a href="http://www.hagihara.co.jp/">http://www.hagihara.co.jp/</a>
	※ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777（通話料無料）

## 株式のお手続きについてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本店におきましてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。